

重要伝統的建造物群保存地区

佐原の町並み



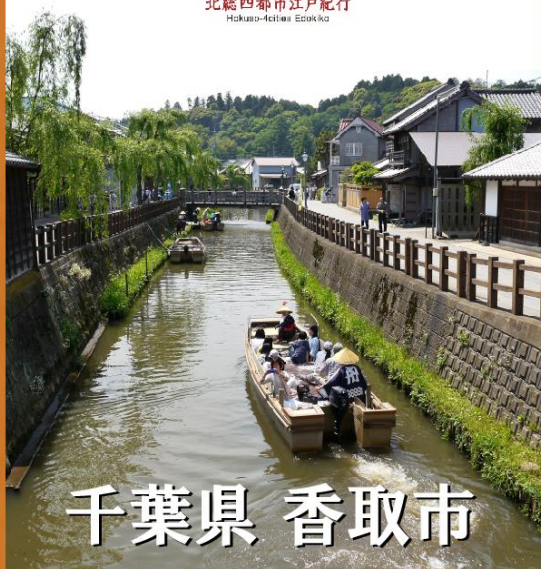
JAPAN HERITAGE

日本遺産

北総四都市江戸紀行



北総四都市江戸紀行
Hokuso-Futaba Esakika



千葉県 香取市

下総国一宮

香取神宮



全国測量地図を作成

伊能忠敬



ユネスコ無形文化遺産登録

佐原の大祭



北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み

佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群

北総地域は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と豊かな漁場の太平洋を背景に、利根川東遷により発達した水運と江戸に続く街道を利用して、江戸に東国の物産を供給し、江戸のくらしや経済を支えました。

こうした中、江戸文化を取り入れることで、城下町の**佐倉**、成田山の門前町**成田**、利根水運の河岸、香取神宮の参道の起点の**佐原**、漁港・港町、そして磯巡りの観光客で賑わった**銚子**、という4つの特色ある都市が発展しました。

これら四都市では、東京近郊にありながら、特色ある町並みや風景が今も残り、江戸情緒を体感することができます。成田空港からも近いこれらの都市は、世界から一番近い「江戸」といえます。



伊能忠敬

伊能忠敬（1745～1818）は、日本中を測量し、初めて実測による日本地図を完成させました。その業績に関する一括資料 2,345 点（国宝）は、伊能忠敬記念館に収蔵・展示されています。店舗、書院などの旧宅は国指定史跡。



香取市佐原伝統的建造物群保存地区

市街地中心部を南北に流れる小野川と、これに交差する香取街道沿いの地区。蔵造りの町屋や土蔵、洋風建築などの伝統的建築物が立ち並び、小野川沿いには石階状の「だし」が残り、佐原河岸として繁栄した歴史的景観を今に伝えています。



佐原の山車行事

小野川を境に、東岸の本宿（10 町内）では7月中旬に八坂神社の祇園祭、西岸の新宿（15 町内）では10月中旬に諏訪神社の大祭が行われます。各町内が意匠をこらした山車を、佐原囃子の調べにのせて、勇壮に、時には厳かに曳き廻します。



香取神宮

下総国一ノ宮として尊崇を集める東国屈指の古社。元禄13年（1700）に造営された、黒漆塗り・檜皮葺きの本殿と朱塗りの楼門のコントラストが鮮やかです。国宝「海獣葡萄鏡」は日本三銘鏡と称されます。



津宮河岸の常夜燈

江戸時代利根川を往来する船の目印として大きな役割を果たしてきた常夜燈。明和6年（1769）3月に奉納されたもの。高さは280cm、2段重ねの台座の上に、基礎・方柱の竿・中台・火袋（火を燈す部分）・笠・宝珠で構成されています。



佐藤尚中

佐藤尚中（1827～1882）は、日本近代医学の中心人物で、順天堂医院（後の順天堂大学）の創始者。小見川藩医山口甫僊の次男で、後に佐藤泰然の養子となり佐藤姓となりました。生家の屋敷地跡（現在の内浜公園）に産湯の井戸等が残ります。



観福寺

真言宗豊山派の古刹で、関東三大厄除け大師の一つ。重要文化財の鎌倉期の四軀懸仏や、伊能忠敬の墓などがあります。



天真正伝香取神道流

室町時代に形成された古武術。その型は今に伝わり、香取神宮近くには始祖飯篠長威斎の墓、道場などが残されています。



初代松本幸四郎墓

江戸中期の歌舞伎の名優。小見川島田家の生まれで、弁慶の当たり役で喝采を浴びました。小見川善光寺に墓所があります。



日本遺産とは？

地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦力的に発信することによって、地域の活性化を図ることを目的としています。